

保護者のみなさま

大阪府立富田林支援学校

校長 太田 正人

准校長 大門 史朗

令和元年度「富田林支援学校みんなのためのアンケート」
学校教育自己診断【保護者用】の集計検討結果について

全体の提出率は52.7%でした。(参考：前年度59.5%、2年前66.7%)前々年度・前年度に比べ提出率は減少傾向となっています。施設入所の児童生徒数は中学部・高等部で増加しておりますが、次年度以降は施設入所の保護者のみなさまをふくめまして、よりご提出いただけるよう考えます。

各設問につきましては、以下の記号により肯定(よい評価)率をしめしております。

A：よくあてはまる	☆☆・・・A+Bが90%以上
B：ややあてはまる	☆・・・A+Bが80%以上90パーセント未満
C：あまりあてはまらない	★・・・C+Dが10%以上20%未満
D：まったくあてはまらない	★★・・・C+Dが20%以上

【全校の結果】 設問数全 17 のうち、肯定率の高かった設問は、**☆☆は11 (前年度6)** となり90%以上の肯定率の設問が、ほぼ倍増しております。その結果から、ある一定程度、今年度の学校教育に評価をいただくことになりました。

【小学部の結果】 設問 17 のうち、肯定率の高い設問が**☆☆8 (8)** **☆8 (8)** となりました。設問によっては回答率の若干のバラつきがありましたが昨年度同様すべての設問で肯定率が80%を超えていました。

【中学部の結果】 設問 17 のうち、肯定率の高い設問が**☆☆13 (10)** **☆4 (7)** となり肯定率の増加となりました。前年度は設問1「学校へ行くことを楽しみにしている」が否定率**C+D 11.9%** **☆☆**だったのですが、今年度と**A+B 94.4%**で☆☆となり全17の設問で★はなくなりました。

【高等部の結果】 設問 17 のうち、肯定率の高い設問が**☆☆3 (5)** **☆3 (8)** となり肯定率の高い設問が減少しました。その中で、設問2「子どもは楽しくいきいきと授業に取り組んでいる」設問3「体育大会や遠足・宿泊学習・修学旅行などの学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている」設問6「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的におこなっている」さらに設問8「学校は保護者の要望・相談に誠実に対応している」の4つの設問で昨年度☆のみだったのが☆☆となり肯定率はほぼ同じであるが否定率が増加し、両極端の評価となる設問が増加しました。また設問15「教職員は、生徒の障がいについて理解している」は昨年度★のみで課題の残る結果となりましたが、今年度☆☆となり肯定率が向上しました。

自由記述欄で、いただいたご意見をもとに・・・

【全体】

- 保護者駐車場が遠いことやその整備の問題につきましては、複数のご意見、ご要望がありました。ここ数年、こんごう福祉センター内の再編整備が進められている最中ですので、確定した回答はできません。行事など場合によっては校内駐車を行うなど柔軟に対応していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。また毎年、本校PTAからも大阪府に要望しています。
- 教員配当数に関しては学校として大阪府に要望しております。その中で校内人事につきましては学校全体として、教員の専門性や年齢、性別などを考慮し効果的な配置をしております。
- 最近ニュース等で学校や放課後等デイサービスなどで食事時の事故が多発しているようなので、今一度ルールの確認などをしっかりしていただけるようよろしくお願いいたします。という要望につきましては、現在府内すべての学校でご指摘のような事故が起こらないよう、教職員の研修、校内チェック体制の厳密化を進めているところです。本校においても、栄養教諭、養護教諭、管理職、担任など横断的な体制でチェック体制を強化したところでございますが、児童・生徒が安全に食事をとれるよう今後もこうした努力を続けていきたいと思っております。
- トイレ環境の整備についての要望につきましては、大阪府に対して（トイレは）子どもたちの基本的な生活習慣の確立のため時代にあった温水洗浄機能のある洋式便座等への改修や増設と、様々な障がいの状況に応じたプライバシーが守れるバリアフリートイレの設置をお願いしています。

【小学部】

- 職業体験や見学につきましては、中学部、高等部になりましたら進路学習として生徒が事業所や企業に行ったり、外部講師に学校へ来てもらい学習会を開催しています。また保護者様へはPTA 進路委員会で毎年、進路見学会や学習会をしていますのでご参加をお願いします。
- 発達障がいや自閉症について教員が学習してほしいというご意見につきましては、障がい特性や発達課題にそった効果的な教育活動が展開できるよう、今後も研修を重ねていきたいと思っております。
- 課外授業としてPT や ST あるいは医療的なものがあればいいという要望につきましては、大阪府や本校独自の予算でPT や ST といった専門家に来ていただき、福祉や医療との連携をすすめているところです。また、居住地校交流を小学部低学年からという要望につきましては担当教員を置いていますので鋭意進めてまいりたいと思っております。
- 低学年の午後からの授業を増やしてほしいというご意見に対しましては、学習指導要領の改訂に伴い、小学部1年生の木曜日2便下校を今年度の3学期より実施しています。今後教育課程の見直しとともに下校時間に関しても検討を重ねてまいりたいと思っております。

【中学部】

- 運動会について、できる生徒にはもっと完成度の高いものに取り組みさせてほしいというご意見につきましては、運動会の学年演技や学習発表会は、様々な発達課題の生徒たちが相互理解し、協力し、ひとつのことでつくりあげることが大きなねらいのひとつです。ご理解ください。学校生活の様々な場面で、発達課題に応じた取り組みをしていますが、さらに工夫していきたいと思えます。
- 保護者同士がかかわる機会が少なく親しくなりにくい。それもあってイベントなどに参加しにくいというご意見につきましては、学校では授業参観、懇談会、各行事、学習会など、たくさんの機会にご参加いただき、保護者どうしのつながりを広げてください。

【高等部】

- 高等部の連絡帳の様式については、他の支援学校を参考にしたり、ここ数年検討を続けた結果現在に至ります。生徒自らが授業を振りかえる良い機会になっているという意見もいただいています。今後も検討を続けていきます。
- 教育課程につきましては、特別支援学校高等部学習指導要領に則り、毎年検討を重ねながら授業展開をしています。進路選択につきましては、進路先である一般企業や障がい福祉サービス事業所、ハローワーク、障がい福祉課、相談支援センターとの連携を図っています。また各種実習を積み重ねて進路決定しています。
- 通知表へのご意見につきましては、通知表の様式は、検討を重ね今年度より変更いたしました。反省・検討を踏まえ改善していきたいと思えます。
- 個々の障がいに合わせた指導で見守りやルールをしっかりと守れるよう、子どもたちにわかりやすく指導お願いします。というご要望につきましては、自力通学のルール・通学バスでのルール・学校生活のルール・学級生活のルール・各授業中のルール等々、子どもたちにわかりやすく指導していきます。
- 体育大会につきまして、個人情報保護の観点から、生徒の名前の入ったお知らせプリント（文書）の配付は難しい状況です。お気づきとは思いますが、〇〇さんがんばれー！と言った個人が特定できるアナウンスも控えています。細かい状況についてはその都度お知らせするよう努力します。
- 悲しい言葉を言ってしまう生徒の指導につきましては、生徒の生命・身体を守るために、日頃の状況を把握するとともに、教育相談体制を充実させることにより、小さな変化を見逃さず、事象や課題の早期発見、早期対応に努めます。具体的には、安心・安全アンケート、いじめに関するアンケートにつきましては、記述内容を担任・学年主任・部主事・生活指導部長・管理職で確認し、共通理解のもと対応しています。お気づきのことがありましたら、別途、担任、学年主任、部主事等にご連絡ください。

- 高等部生徒の呼称については、生徒の個々の特性や発達段階を受容し、自尊感情を高められるように配慮していきたいと思います。
- 小学部、中学部そして高等部と指導が一貫していないのでとまどう時がある。高等部の授業カードや映像を使用してわかりやすくしてほしい。というご意見につきましては、授業作り研修を重ねるとともに ICT 機器の活用について、教員間で情報交換するなど、わかりやすい授業になるよう研鑽を積みます。

【PTA 活動】

- 設問17「PTA 活動は、目的を共有して適切に活動している」という設問の評価につきましては☆と昨年度同様でしたが、数値的に昨年度 $A+B80.7\%$ が、今年度肯定率 $A+B86.5\%$ と向上しました。役員会や運営委員会、各委員会が中心となって、よりよい PTA 活動となるように取組みを継続しておられます。
- P T A 役員会や運営委員会、各行事の開始時間につきましては、それぞれ活動内容も異なり、お仕事等へのご迷惑をおかけします。みなさまのご参加に対するお気持ちを大切に、それが無駄にならないようご相談にに応じてまいります。
- P T A 役員や運営委員につきましては、毎年少しずつ見直し、保護者のニーズにあった選出方法でおこない保護者間の交流の場として負担軽減させる活動をしております。昨年度、平成31年1月に臨時総会をおこない「各委員会の委員は各学級より1名選出するが、状況により学年全体からクラス数的人员を選出し、学級（学年）いいんとしてもよい。」と一部規約改正をいたしました。また、各行事につきましても役員や各委員会の仕事を精選し、より有意義なものとなるようにしていきたいと考えています。これからもご理解ご協力よろしく申し上げます。

学校教育診断票(集計:全校)

☆☆・・・A+Bが90%以上

☆・・・A+Bが80%以上90パーセント未満

★・・・C+Dが10%以上20%未満

★★・・・C+Dが20%以上

	診 断 内 容	A	B	C	D
☆☆★ 1	子どもは学校へ行くことを楽しみにしている。	100	52	16	1
		58.8	30.6	9.4	0.6
☆☆ 2	子どもは楽しくいきいきと授業に取り組んでいる。	86	69	11	0
		50.6	40.6	6.5	0.0
☆☆ 3	運動会・体育大会や遠足・宿泊学習・修学旅行などの学校行事は、児童生徒が積極的に参加できるよう工夫されている。	104	55	8	1
		61.2	32.4	4.7	0.6
☆☆ 4	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	75	79	11	1
		44.1	46.5	6.5	0.6
☆☆ 5	学校が保護者に配る文書や事務連絡等は適切である。	92	68	5	2
		54.1	40.0	2.9	1.2
☆☆ 6	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	95	61	12	1
		55.9	35.9	7.1	0.6
☆☆ 7	通知票は、児童生徒の学習状況をわかりやすく表記されている。	104	60	3	2
		61.2	35.3	1.8	1.2
☆☆ 8	学校は、保護者の要望・相談に、誠実に対応している。	93	64	9	2
		54.7	37.6	5.3	1.2
☆☆ 9	学校は、「進路のしおり」「進路ニュース」等で、進路に関する情報を保護者に提供し、進路懇談等において質問に答えている。	69	84	7	1
		40.6	49.4	4.1	0.6
☆☆ 10	学校は、自然環境を活かした特色ある教育活動に取り組んでいる。	99	64	0	1
		58.2	37.6	0.0	0.6
☆☆ 11	学校は、個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づいた指導を行っている。	86	77	3	3
		50.6	45.3	1.8	1.8
☆ 12	学校は、児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命を大切にする心やルールを守る態度を育てようとしている。	77	70	6	2
		45.3	41.2	3.5	1.2
☆ 13	学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。	67	76	2	2
		39.4	44.7	1.2	1.2
☆ 14	学校は、安全対策が十分行われている。	61	84	11	2
		35.9	49.4	6.5	1.2
☆☆ 15	教職員は、児童生徒の障がいについて理解している。	69	85	8	2
		40.6	50.0	4.7	1.2
☆ 16	教職員は、すべての教育活動において、児童生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	71	76	10	0
		41.8	44.7	5.9	0.0
☆ 17	PTA活動は、目的を共有して適切に活動している。	61	86	6	4
		35.9	50.6	3.5	2.4

A	よくあてはまる
B	ややあてはまる
C	あまりあてはまらない
D	まったくあてはまらない

学 校 教 育 診 断 票 (昨年度との比較)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない		H30年度	R1年度	
1	子どもは学校へ行くことを楽しみにしている。	A+B 肯定的	84.8	89.4
		C+D 否定的	11.2	10.0
		無回答	4.1	0.6
2	子どもは楽しくいきいきと授業に取り組んでいる。	A+B 肯定的	87.8	91.2
		C+D 否定的	6.6	6.5
		無回答	5.6	2.4
3	運動会・体育大会や遠足・宿泊学習・修学旅行などの学校行事は、児童生徒が積極的に参加できるよう工夫されている。	A+B 肯定的	93.4	93.5
		C+D 否定的	2.5	5.3
		無回答	4.1	1.2
4	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	A+B 肯定的	91.9	90.6
		C+D 否定的	5.6	7.1
		無回答	2.5	2.4
5	学校が保護者に配る文書や事務連絡等は適切である。	A+B 肯定的	93.4	94.1
		C+D 否定的	3.6	4.1
		無回答	3	1.8
6	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	A+B 肯定的	89.8	91.8
		C+D 否定的	7.6	7.6
		無回答	2.5	0.6
7	通知票は、児童生徒の学習状況をわかりやすく表記されている。	A+B 肯定的	94.4	96.5
		C+D 否定的	2	2.9
		無回答	3	0.6
8	学校は、保護者の要望・相談に、誠実に対応している。	A+B 肯定的	90.9	92.4
		C+D 否定的	6.1	6.5
		無回答	3	1.2
9	学校は、「進路のしおり」「進路ニュース」等で、進路に関する情報を保護者に提供し、進路懇談等において質問に答えている。	A+B 肯定的	86.3	90.0
		C+D 否定的	4.1	4.7
		無回答	9.6	5.3
10	学校は、自然環境を活かした特色ある教育活動に取り組んでいる。	A+B 肯定的	93.9	95.9
		C+D 否定的	1.5	0.6
		無回答	4.6	3.5
11	学校は、個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づいた指導を行っている。	A+B 肯定的	88.8	95.9
		C+D 否定的	6.1	3.5
		無回答	5.1	0.6
12	学校は、児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命を大切にする心やルールを守る態度を育てようとしている。	A+B 肯定的	87.3	86.5
		C+D 否定的	4.6	4.7
		無回答	8.1	8.8
13	学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。	A+B 肯定的	78.7	84.1
		C+D 否定的	4.1	2.4
		無回答	17.3	13.5
14	学校は、安全対策が十分行われている。	A+B 肯定的	86.3	85.3
		C+D 否定的	2.5	7.6
		無回答	11.2	7.1
15	教職員は、児童生徒の障がいについて理解している。	A+B 肯定的	82.2	90.6
		C+D 否定的	10.2	5.9
		無回答	7.6	3.5
16	教職員は、すべての教育活動において、児童生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	A+B 肯定的	86.3	86.5
		C+D 否定的	4.6	5.9
		無回答	9.1	7.6
17	PTA活動は、目的を共有して適切に活動している。	A+B 肯定的	80.7	86.5
		C+D 否定的	6.1	5.9
		無回答	13.2	7.6

学校教育診断票 (昨年度との比較円グラフ)

	H30年度	R1年度		H30年度	R1年度
1			2		
3			4		
5			6		
7			8		
9			10		
11			12		
13			14		
15			16		
17					